

新しい総合計画がスタート

えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）

〔詳細〕 政策推進課
（総合計画・総合戦略担当）
☎ 381-1033



江別市長 後藤 よしひと

江別市は、市の最上位計画である「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」を策定しました。

今後10年間のまちづくりの指針である総合計画は、市民参加の取り組みを通じて、多くのご意見をいただきながら作り上げました。

これから、将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現に向けて、新しい計画に基づきまちづくりを進めていきます。

時代の変革期

現在は、揺れ動く国際情勢をはじめ、景気の変動や、感染症の流行、大規模災害の発生などによって不安定な社会経済状況の中にあり、近い将来を見通すことが非常に難しい時代です。

そのような中で、さまざまな課題に対し、これまで以上に柔軟かつ大胆に対応しながら、新しい価値を創造し、困難を乗り越えていく必要があります。

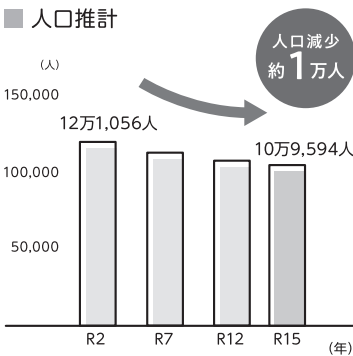
これからも「江別市に住んで良かった」「このまちにずっと

住み続けたい」と思っていただけけるよう、市民の皆さまと手を取り合いながら、着実にまちづくりを進めていきます。

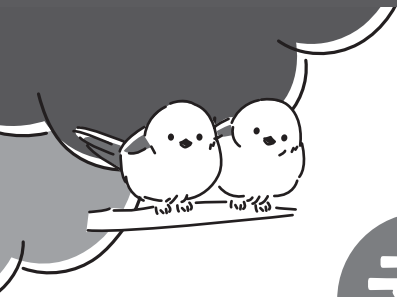
人口減少対策に重点

全国的に少子高齢化と人口減少が進む中、令和5年の江別市における0～14歳の年少人口の転入超過数は、6年連続して全国の市町村の中で20位以内という喜ばしい結果となりました。

一方で、全国的に進む人口減少の大きな流れの中で、江別市の人口は令和2年の12万1056人から、本計画の終了年である10年後の令和15年には1万人以上が減少すると見込んでいます。



江別市子育てひろば ぽこ あ ぽこ



\\ 将来都市像 //

幸 せ が 未 来 へ

つ づ く ま ち え べ つ

まちづくりの基本理念

- いつまでも元気なまち
- みんなで支え合う安心なまち
- 子どもの笑顔があふれるまち
- 自然とともに生きるまち
- 新しい時代に挑戦するまち

このまま、人口減少が進むと、深刻な人手不足に陥り、次第に経済が縮小し、まちが衰退していく可能性があります。

まちの活力を保つためには、将来を担う子育て世代などの若い方々に江別市を選んでいただけるような取り組みを行いながら、今、市内で活躍されている方が、年齢を重ねても、安心して住み続けられるまちづくりを進めていくことが重要です。

これらの取り組みを重点的に進めていくことにより、人口減少を和らげ、令和15年の推計を上回る人口を目指します。

目指すまちの姿の検討

計画の策定にあたっては、人口減少対策をはじめ、まちの経済活性化やデジタル技術の活用、脱炭素・循環型社会への対応、地域のつながりづくり、共生社会への対応、持続可能な行財政運営など、江別市の課題を市民の皆さまと共有しながら、目指すまちの姿を検討してきました。

まちづくりの基本理念

多くの市民の皆さまとお話をする中で、「課題はあるが、江別市は住みやすく、このまちのことが好き」「変わらずに、い

つまでも、住み良いまちであり続けてほしい」というご意見を多くいただきました。

こうした市民の皆さまの想いをもとに、これからの江別市が目指すまちの姿として、五つの「まちづくりの基本理念」を定めました。

将来都市像

住みやすく、魅力的なまちであり続けるため、基本理念に基づきまちづくりを進めることで、江別市に関わる全ての人が幸せを実感し、その幸せが未来へ続いていくという希望を込めて、「幸せが未来へつづくまちえべつ」を将来都市像に掲げることとしました。

江別市は、この将来都市像を実現させるため、市民の皆さまとの協働のもと、あらゆる課題に挑戦しながら、みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちを目指して、まちづくりを進めていきます。



重点的・集中的に取り組む戦略

えべつ未来戦略 (前期5年間)

推進機能：情報発信、ICT化

- 戦略1 子どもが主役のまちをつくる
- 戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける
- 戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる
- 戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む
- 戦略5 デジタル技術で住みよい明日^{あす}を切りひらく

基盤：協働

えべつ未来戦略

将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現に向け、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながる五つの戦略を設定し、重点的・集中的な取り組みを進めていきます。

子どもが主役のまちをつくるための子育て・教育に関する戦略をはじめ、健康増進・共生社会の形成、経済活性化、地球温暖化防止、デジタル技術の活用に関する戦略を設定しました。

また、五つの戦略を実施する根底となる基盤には「協働」を、戦略を効果的に実施する推進機能には「情報発信、ICT化」を設定して、総合計画の前期5年間のまちづくりを推進していきます。



えべつ未来へつづくまち

※ 総合計画の冊子では、「子育て応援のまち・えべつ Instagram フォトキャンペーン」に投稿いただいた子どもたちの写真を多数掲載し、子どもたちのあふれる笑顔とともに、将来都市像を紹介しています

総合計画の構成と期間

総合計画は、市の最上位計画であり、未来のまちづくりの方向性を示す計画です。

第7次江別市総合計画では、10年間の中長期的な視点に立ってまちづくりを進める「えべつまちづくり未来構想」と、大きく変化する社会状況に対応するために、総合計画の前期と後期それぞれ5年間で重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」の2本柱で構成しています。

えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）令和6～15年度

《えべつまちづくり未来構想》

期間：10年（5年を目途に見直し）

まちづくりの基本理念

将来都市像

幸せが未来へつづくまち えべつ

まちづくり政策

環境、産業、福祉など、九つの分野ごとに取り組む施策

将来都市像の
実現につなげる

戦略テーマに
沿った具体的
施策を選定

《えべつ未来戦略》

期間：前期5年・後期5年

江別市の特色や優れた点を生かして、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながるテーマを設定します。

テーマの実現に必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選び、重点的・集中的に取り組めます。

分野ごとの個別計画

環境、産業、福祉、健康、防災、都市計画、子育て、教育、スポーツ、協働などの分野別に策定されている計画など

市民参加の取り組み

第7次江別市総合計画の策定作業は、令和3年度に着手し、これまで、市民5千人を対象とした「まちづくり市民アンケート調査」をはじめ、さまざまな市民参加の取り組みを行ってきました。

策定作業時は、新型コロナウイルス感染症の流行下であり、大人数による対面型の意見交換が困難な状況であったため、少人数のグループを複数設定し、多くの方からご意見を伺う「えべつの未来づくりミーティング」を実施し、幅広い意見をお聴きしてきました。

ミーティングは、中学生や高校生、大学生をはじめ、市内企業の経営者や若手従業員、障がいのある方や子育て中のパパ・ママなど、30のグループと江別市のまちづくりに関する意見交換を行い、江別市の強みや弱み、今後力を入れて取り組むべき分野などについてご意見をいただきました。

他にも、市内高校の生徒を対象にした「高校生WEBアンケート調査」や、

インターネットを通じて、江別市の未来についてご意見を伺う「えべつの未来づくりプロジェクト」などの取り組みを実施してきました。

これらの市民参加の取り組みを通じて得られた、たくさんの方の多様な意見を参考にしながら、計画づくりを行いました。

本計画の策定にあたり、ご協力いただいた市民の皆さま、関係者の皆さまに、心から感謝とお礼を申し上げます。



子育て中のパパ・ママとのミーティング



大麻地区自治連合会連絡協議会とのミーティング

▽紹介動画をご覧ください

総合計画をより分かりやすく、身近に感じてもらえるよう、紹介動画（約3分）を作成しました。左の二次元コードからご視聴ください。



▽総合計画の詳細はホームページなどでご覧ください

本編（まちづくり未来構想）と別冊（えべつ未来戦略）は、市ホームページ（左の二次元コード）のほか、公民館などの公共施設でご覧いただけます。

